

第1章

知識基盤社会が求める科学技術関係の人材像

－イノベーションの創造に不可欠なチーム力の育成、チーム力を強化する多様性の確保

第2章

社会の多様な場で活躍する科学技術関係人材の育成

1. 博士号取得者の社会の多様な場における活躍の促進

－産業界や教育界等へのキャリアパスを確立するための
仕組みの構築

2. 大学教員等の人材育成に係る意識の改革

－教員と学生が共に参画する産学協働の連携教育研究
プログラムの推進

－教員評価システム等の改革を促す仕組みの構築

3. グローバル化に対応した人材の育成・確保

－研究者のキャリアステージに応じた派遣機会の戦略的な充実
－大学等における専門性の高い国際担当事務職員の育成

4. 女性研究者の活躍の加速

－採用や昇進の促進に向けたインセンティブ付与

第3章

若手研究者が自立して研究できる体制と場の
抜本的な整備

1. テニユア・トラック制の普及・定着

－テニユア・トラック教員数に係る数値目標の設定と
その達成に向けたテニユア・トラック制の普及・定着
のための効率的な支援

2. 若手研究者ポストの拡充

－給与の据え置き、再雇用制の導入等による
若手研究者ポストの拡充

第4章

次世代を担う人材の育成

1. 科学技術に資質や才能を有する児童生徒等を見出し伸ばしていくための取組の充実

－教員の質の向上
－高等学校等の科学部活動への支援

2. 初等中等教育から研究者・技術者養成まで一貫した理数教育の充実

－大学や企業等の研究者・技術者を活用したキャリア教育の推進

次回の開催予定

科学技術・学術審議会人材委員会(第51回)

【日時】平成21年7月24日(金)

13:00～15:00

【場所】文部科学省 東館3階 3F1特別会議室